

# 株式会社デンソーウェーブ

## 1. 会社の概要

- (1) 会 員 名：株式会社デンソーウェーブ
- (2) 所属部会：関東金属機械部会第2分科会
- (3) 資 本 金：4.9億円  
従業員数：967名  
(2015年3月1日現在)
- (4) 主な事業：自動認識装置、産業用ロボット、プログラマブルコントローラ等の機器やシステムの開発・製造・販売
- (5) 企業理念：「最良の商品とサービスを持って、お客様に“うれしさ”をお届けする」
- (6) CIマーク



上段は赤文字，下段は青文字とするデンソーグループ会社統一基準に合わせている。

## 2. 知財部門の概要

### (1) 組織上の位置及び名称

管理部門である情報企画部に属し，知的財産室と称している。

### (2) 構成及び人員

知的財産室は，主に特許を扱う知財部門と契約を扱う契約部門で構成され総勢は11名。

知財部門の人員は5名で，3名は特許担当者，2名は事務及び情報管理を行っている。また，契約部門は5名で契約の作成・審査を行っている。

### (3) 沿革

2001年10月に株式会社デンソーの非自動車部門が分社化され，システム機器株式会社と一緒

になって株式会社デンソーウェーブが誕生した。会社設立当初，知財部門は技術管理室の中に在籍していたが，2006年に知的財産室と名称を変え，2015年からはそれまでの技術契約部門に法務契約部門も加わり現在の組織になっている。

## 3. わが社の知的財産活動

### (1) 基本方針

「経営に貢献する知財活動」をスローガンとし，製品開発の初期段階から事業計画や研究開発に知財戦略を組込んだ活動を目指している。

### (2) 知的財産活動

デンソーウェーブはもともと親会社であるデンソーの1事業部門であったため，基本的な体制はデンソーと同様であり，知財関係者は管理部門としての知的財産室と事業部・開発部内に置かれた特許専任者という体制で運営している。

また，事業部と知的財産室のコミュニケーションを良くするため，同じビル内ではあるが知的財産室の特許担当者はメインの席を事業部に置き特許専任者を兼ねて事業活動に密着した活動を目指している。その成果として出願提案数アップや高い特許登録率（2012年：94%，2013年：88%，2014年：93%）が挙げられる。

### (3) 知財戦略会議

知財の長期方針，中期計画を踏まえて当年度の知財ビジョン提案や意見具申を行う場として毎年，経営層と技術部長を集め開催している。関係者に対し，今後どのような活動を行うのか，何を変えていきたいのか十分理解してもらうため，単なる年度計画の報告ではなく重点施策について議論できる場としている。そのためにレ

本文の複製、転載、改変、再配布を禁止します。

ジメの順番や時間配分に配慮している。

また、活動推進の旗印や新規予算の獲得といった実際に推進する上でのカギとなる部分の承認を取り付けることも行っている。

#### (4) 出願・権利化活動（金星活動）

開発・設計した製品、技術の出願や権利化は定常業務として実施しているが、真に経営に貢献するためには、それだけでは不十分と考えている。とりわけ他社と差別化できる新技術・新商品と言ったものへの取り組みが重要であり、そのような新技術を対象として“他社も使わざるを得ない基本特許”を目指した「金星特許」創出活動を行っている。

「金星特許」候補のテーマは知財戦略会議で報告し承認を受け、事業部と知的財産室が一体となって基本特許及び特許網の形成に努めている。そして金星特許に認定されたテーマの特許については優先的に外国出願を行っている。

#### (5) 商標「QRコード®」のブランド化

弊社が豊田中央研究所と共に開発し、JISやISO等で標準化を行い、世界中で利用を進めてきた「QRコード®」であるが、その商標も大切にしている。

商標「QRコード®」を保有する理由は、

- ・模倣や悪用を防止し、ユーザ保護と信頼・安心の確保
- ・QRコード®を用いてデンソーウェブを宣伝の2つである。

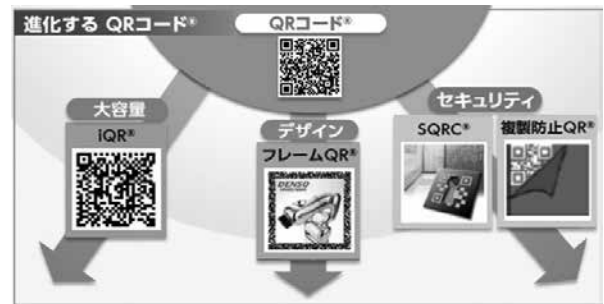
過去には外国でパクリ商標として権利化した個人から金銭解決を要求されたこともあるが1つずつ解決に当たってきている。また、普通名称化防止にも取組んでおり、辞書やホームページ内での記載に関してお願いを続けている。

近年はオリジナルのQRコードに加えて新しい機能を持った進化したQRコードが誕生している。

- ・iQR…大容量のQRコード
- ・SQRC…セキュリティ機能を持ったQRコード
- ・複製防止QRコード…コピーできないQRコード

- ・フレームQR…絵などが入れられるデザイン性のあるQRコード

これらのQRコードを総称してQRコードファミリーと言っているが、知的財産室も進化したQRコードの普及やライセンスングに力を入れている。



#### (6) 親会社との連携

10人規模の組織では、各分野における専門性の追求や法改正および海外最新情報を収集しながら知財活動を実施するのは難しい状況にある。

そのため、親会社であるデンソーの知財活動に合わせて活動することで知財活動レベルの向上に努めている。具体的には知財部と事業部・技術部との連絡会である専任者連絡会や、グループ会社知財部門の集まりである情報連絡会への参加に加え、優秀特許活動への応募等により自社の知財活動の活性度やレベルを計っている。

## 4. 今後の計画

2020年知財長期ビジョンで事業部ごとに定めた知財計画を確実に推進していくため、

- ・金星特許の権利化、活用
  - ・海外出願比率の向上
  - ・グローバルライセンスの拡大
- を目指した活動を行っていく。

また、組織が小さいため、計画的にJIPAの活動や親会社との交流・研修を通じた人材育成を図っていき、知財戦略を立案し社内で推進できる体制を維持、向上させたい。

「QRコードはデンソーウェブの登録商標です」

(原稿受領日 2015年12月15日)